

はじめに

練馬区では、これまでも子ども施策を区政の重要な課題として捉え、平成 17 年度には、練馬区次世代育成支援行動計画（前期）を策定して区民の皆様と手を携えて、子どもたちや子育て家庭を支援するための諸施策を実施してまいりました。

しかしながら、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中、依然として家庭や地域における子育て機能が低下していること、また、一昨年来の経済危機と相まって保育所の待機児童が急増していることなど、子育てを取り巻く環境は一層厳しさを増しています。こうしたことから、私は、改めて子どもを生み育てることに本当によろこびを感じるができる地域社会を築いていくこと、そして、明日の練馬を担う子どもたちの健やかな成長を支えることこそ、区が全力をあげて取り組まなければならない課題であると決意を新たにしているところであります。

そこで、平成 21 年 12 月に策定した基本構想において、次代を担う子どもの健やかな成長を支えるため「子ども分野」を新たな政策の柱として掲げました。そして、この子ども分野の政策を具体化するため、長期計画（平成 22 年度～26 年度）とともに、今般、子ども施策を総合的に推進する次世代育成支援行動計画（後期）（平成 22 年度～26 年度）を策定しました。

後期の行動計画では、4 つの基本理念に基づいて、区の計画目標である「子育て、子育てをみんなが応援するまち ねりま」を実現するため、6 つの基本目標を掲げ、47 の計画事業の他、様々な事業を総合的に実施します。

この行動計画を策定するにあたり、子育て中の家庭や、中学生、高校生、子育てを終えた家庭、独身の方へのアンケート調査を実施し、子どもと家庭をめぐる状況や区の子育てに関するサービスなどについての区民の皆様の意識や意向を把握しました。

また、学識経験者、福祉・教育関係者、公募による委員などで構成する「練馬区次世代育成支援推進協議会」からいただいたご意見や区民意見反映制度により区民の皆様からいただいたご意見などを、計画に反映するように努めました。

子どもたちが健やかに生まれ育つことのできる練馬区を築くために、区民の皆様とともに子育て、子育てを応援し、次代を担う子どもたちの成長を支える本行動計画の推進に全力を尽くしてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 22 年 3 月

練馬区長 志村 豊志郎